

とよのっこ

学校便り

長野市立豊野西小学校

6月
平成23年度

梅雨空の6月 例年よりずいぶん早く梅雨入りした今年。6月は曇り空、雨降りの日が多かったです。「梅雨らしい梅雨」で、季節のらしさを感じるという点ではいいとも言えるのですが…、蒸し暑い中頑張っている児童たちです。

学校重点目標への取り組み 6月は「きく・話す」

4月「あいさつ」、5月「清掃」に続いて、6月の重点目標への取り組み重点は、「きく・話す」でした。

今年の「きく・話す」のめあては、『自分の言葉で伝えられる子ども』です。日常的な発表やスピーチなど伝え合う場面の設定や話し合い活動を重視した授業づくりなどを通して、自分の考えや思いを、自分の言葉で、相手にきちんと伝えられるようになることを目指します。合わせて、伝えるためにはお互いにしっかりき（聞・聴）き合えることも必要です。きく力と話す力が相互に高まって行って欲しいと願っています。

年間を通しては、隔週火曜日の朝の時間に「きく・話す活動」を設けています。学年の発達段階に応じた内容で、「話すときく」に取り組んでいます。

6月の取り組みから

理科研究授業

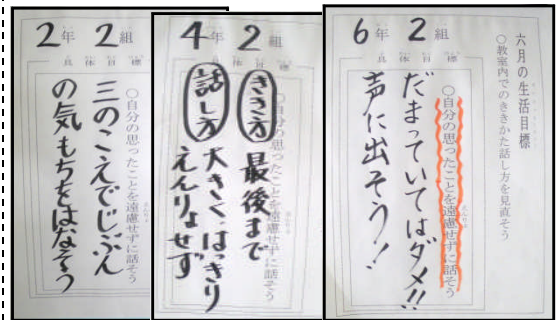
3年生



3年生の理科に、「身近な生き物について学ぶ」というテーマがあり、グループを別れて、学校の周りの自然の中で発見したことや確かめたことをお互いに紹介し合う学習場面を設定しました。

深くかかわってきた生き物について、知らせたいことを整理したり、まとめたりして発表準備をしてきました。授業では、発表用の機器なども利用しながら、自信をもって発表することができました。聞く方もしっかり聞き、質問することができました。

教室に掲げられた具体目標



なかよし集会

28日（金）の朝の時間に、6年ー4年ー1年、5年ー3年ー2年の組み合わせで結成された縦割り班の顔合わせの、なかよし集会がありました。

お互いに、自分の名前、好きな動物、好きな食べ物を、紹介し合いました。初対面同士もいましたが、がんばって自己紹介ができました。

6月のトピックス

高原学校5年（6日～8日）



プール開き（20日）

今年度のプール学習がスタートです。2・4・6年の代表が今年の日当てを発表してくれました。係からは「三無い（走ら無い、とびこま無い、ふざけ無い）」について話がありました。

きまりを守って、安全で楽しく、目標に向かってがんばって泳いでほしいです。

歯の衛生週間（20日～24日）

1、2年は、歯科衛生士さんから歯の正しい磨き方を指導してもらいました。全校でも、カラーテスターによる歯磨き点検、親子歯磨き等々実施。家庭でのご協力ありがとうございました。

今日は月目標についてお話ししましょう。4月・5月の目標を通して、挨拶や掃除がしっかりできるようになりました。特に挨拶については、先生にしっかり挨拶をしてくれる皆さんがたくさんいることをうれしくなります。あいさつ運動を進めてくれた人たち、特に6年生には感謝しています。自分たちでやろうと決めたことを実際に行動で示してくれたところがすばらしい。

今月の月目標「教室内の聞き方、話し方を見直そう」とはどういうことなのでしょう。みなさんはどう取り組んでいますか。伝えるということは、どんなことでしょうか。

こんなむかし話があります。 — バベルの塔の話 略 —
これは、ことばでつたえ合うことの大切さをいっているお話です。

私たちは人と協力して仕事を進めるのですが、そこに互いの気持ちを伝え合うことが必要になります。生まれたばかりの赤ちゃんはおむつが濡れれば泣く、お腹がすけば泣く、いやなことは泣くことでしか周りの人に伝えることができません。周りの大人が、「お腹がすいたんだな」「ねむいんだな」と気持ちを考えて赤ちゃんのお世話をします。この「泣く」「笑う」というのは、赤ちゃんにとって自分のことを伝える大切な方法です。自分で歩くことができない、自分で食べることもできない、すべてを世話になっている赤ちゃんは、ことばで自分のことを伝えることができません。少し大きくなると、「うまうま」とか「おしっこ」とか短い言葉で自分のことを伝えることができるようになります。

ところで、「先生、これ!」とか、「私、面白くない」とか「むかついた」一言しか口にしない人はいませんか。周りの人には「この人どうしたんだろう?」とよく分かりません。「あの人はなんで怒っているのだろう。」と考えてしまいます。赤ちゃんとあまり変わらないですね。小学生である皆さんにはきちんと自分のことを伝える方法を持つてほしいです。それが、今月の目標にある「きく・話す」力をつけることです。

授業ではどうでしょうか。「間違っただけを言っただけで恥ずかしい思いをしたくない。だから黙っていた方がいい。」これでは伝え合うことができません。「友だちはこう考えたんだな。」と人の考えを聞くこと、「自分はこう考える」と自分の考えを発言すること、こうして互いの考えを伝え合うことで、自分の考えにさらに良いアイデアが加わるようになります。時には間違っただけも、問題点をはっきりさせるためには大切になります。

話し合いを繰り返していると、良い意見が言えるようになります。黙って友だちの意見をきいているだけでは、良い考えは生まれません。授業の中で「きく・話す」ことはすごく大切な目標です。

では、どんなことに気が付いたら良いのでしょうか。いくつかの例をお話ししましょう。

最初に「きく」について

- ◇体を向けて話す人を見て聞きましょう。
- ◇うなずいたり相づちを入れたりしながら聞きます。
- ◇話をしている最中に関係ないことを言わないようにしましょう。

話す方ではどうでしょうか。

- 教室の後ろの方にいる人の耳の中に話を注ぎ込むように話します。
- うなずいてくれる人の顔を見ながらお話ししましょう。
- 名前を入れて話しましょう。さっき〇〇さんが言ったように、……

話し合いではどうでしょう。

- ☆「はい」とまっすぐに手を挙げます。
- ☆〇〇さんの意見に付け加えて、こうすると思います。
- ☆〇〇さんの意見に賛成です。理由は……

今日はみなさんに、きく話すについてのお話しをしました。
今日から、目標を決め、とりくんでみましょう。

